

ビキニ水爆被災事件とヒロシマ

3・1 ビキニデー広島集会 (2012. 3. 1 広島・ロードビル)

宇吹暁(うぶき さとる)

1. ビキニ水爆被災事件

***ビキニ環礁**=マーシャル諸島共和国 (29 の環礁と 5 つの島からなる島嶼国家。人口約 6 万人) にある環状のサンゴ礁のひとつ。アメリカ合衆国が、1946 年～58 年に、同環礁と隣のエニウェトック環礁で 67 回の原水爆実験を実施。

1946 年 3 月 7 日、ビキニ環礁住民 167 人が、別の環礁に移住。7 月 1 日と 25 日にアメリカによる戦後初の核実験。

1954 年 3 月 1 日、水爆実験。広島原爆の 1000 倍の威力。ロンゲラップ環礁住民 86 人 (胎児を含む)、ウトリック環礁住人 (166 人) などとともに静岡県焼津港所属の遠洋マグロ漁船第五福龍丸 (乗組員 23 名) などが被災。

高知県ビキニ被災船員の会が発足 (1988 年 5 月 11 日)、

高知県太平洋核実験被災支援センター

*** 世界遺産としてのビキニ環礁**

2010 年 7 月 25 日～8 月 3 日、ブラジルの首都ブラジリアで開催された第 34 回世界遺産委員会で「ビキニ環礁核実験場」としてユネスコの世界遺産に登録。(この時点での世界遺産数は 911 件)。 **2011 年第 35 回世界遺産委員会 (2011 年) に、新たに 25 件加わり総数は 936 件**

世界遺産となるための条件=OUTSTANDING UNIVERSAL VALUE (顕著な普遍的価値)

(iv) 人類の歴史の重要な段階を物語る建築様式、あるいは建築的または技術的な集合体、あるいは景観に関するすぐれた見本であること。

実験施設、実験の結果できたクレーター、水中に沈んだ戦艦など核実験の一連の現場

(vi) 顕著で普遍的な価値をもつ出来事、生きた伝統、思想、信仰、芸術的作品、あるいは文学的作品と直接または実質的関連があること (極めて例外的な場合で、かつ他の基準と関連している場合のみ適用)。

. Hiroshima Peace Memorial (Genbaku Dome)=The site of the first use of the atom bomb in Japan, in August 1945, inscribed on the World Heritage List as the (1996, criterion (vi)).

. The first nuclear explosion at **Trinity**, in July 1945, in the State of New Mexico in the USA.

. The site of **Enewetak Atoll** in the Marshall Islands, used alongside Bikini from 1948 onwards.

. The underground nuclear test site in **Nevada** in the USA.

ネバダデー 米国が1951年にネバダ州で核実験を実施した1月27日

. The Soviet Union's first test site at **Semipalatinsk** in Kazakhstan, used from 1949 onwards.

. The British test sites of **Maralinga and Emu** in the Australian desert, from 1952 onwards, and the island of **Kiritimati** in the Indian Ocean (H-bomb, 1957).

. The sites of **Mururoa and Fangataufa** in French Polynesia, used from 1966 onwards.

・ ・ ・ testimony to a type of colonialism which is specific to nuclear weapons,
・ ・ ・ The atoll forms part of a direct historic sequence beginning with the first nuclear test at Trinity and the military use made of the resulting weapon at Hiroshima and Nagasaki. It marked the symbolic start of the Cold War and the development of the arms race which characterizes this period. It is in particular the location of the testing of the first H-bomb. It is also a place in which a specific form of violence was exercised on local populations, initially by their relocation and then by the irradiation to which they were subjected, resulting in serious public-health consequences. Finally, particularly in the wake of the extremely powerful but inadequately controlled Castle Bravo test, the Bikini tests were the cause of the international nuclear disarmament movement of the 1950s and 1960s.

出典。 Bikini Atoll (Marshall Islands) <http://whc.unesco.org/en/list/1339>

世界遺産年報 日本ユネスコ協会連盟発行 1200円。

原爆ドーム、オーストラリア・カカドゥ国立公園

2. ビキニ水爆被災事件と日本国民

3月14日寄港。16日読売新聞がスクープ

*全国規模での食品・環境汚染の体験

原子マグロ＝日本人の重要な蛋白源。カイガーカウンターによる検査＝》廃棄

――>食品汚染

死の灰を含んだ雨＝5月16日以降、日本にも降る。

――>環境汚染

宇吹＝9歳。雨にあたらしたら髪の毛が抜ける。外で遊ばないように注意されていた。

*政府・学会を挙げての調査・研究

厚生省**原爆症調査研究協議会**第3回協議会（3月25日）

1953年11月設置

臨床・食品衛生・環境衛生の3専門部会を設置

臨床部会（東大医学部附属病院・国立東京第1病院）＝第五福龍丸乗組員の治療

4月14日、原爆症調査研究協議会を拡大強化

日本学術会議放射線影響調査特別委員会（1954年5月1日設立準備会）

基礎班、医学班、生物班、水産班、地球物理班（气象台、海上保安庁）

――>食品・環境汚染問題への取り組みの出発点

*自然発生的な実験禁止決議・署名運動—>**継続的な 原水爆禁止**運動の出発点

広島・長崎の体験の存在

***原水爆禁止署名運動とストックホルム・アピール**（Sアピールと略称）

Sアピール＝1950年3月15－19日にストックホルムで開かれた平和擁護世界大会委員会で採択。原子兵器の使用禁止を求めるこのアピールは、全世界で5億余、日本で645万の支持署名。この運動の担い手であった平和団体の経験と蓄積が、原水爆禁止運動の発展に役立つ。

原水爆禁止団体、自治体・議会＝ストックホルム・アピール支持署名運動では見られなかった署名運動の新しい担い手。

*日本の原水爆禁止運動の特徴（通説）＝それまでの戦後の民主運動や民主組織が、「上から」組織されてきたのに対し、原水爆禁止運動は、「下から」組織化された。

宇吹説＝「上から」のみでなく、「下から」の組織化の力も相伴って出発し、「下から」の組織化の力が、署名運動の展開の中で強化。

*原水爆禁止署名運動全国協議会結成（1954年8月8日）

すでに集まっていた署名の集約と署名運動の継続

*署名運動の発展経緯と原水爆禁止世界大会（1955年8月）

＜安井郁（全国協議会事務総長）の世界大会の開会総会における経過報告での総括＞

[9月23日、久保山愛吉死亡]

1954年4月～7月 自然的な地方的運動。

～同年12月 全国的運動の段階

1955年1月～ 世界的運動の段階

世界大会＝「過去一年全国民的な規模でおこなわれてきた原水爆禁止運動の総括集」

[9月23日、久保山愛吉死亡]

運動の内容・進展程度の地域的な違い

*広島の場合＝全国協議会が発足した時期に、ほぼ署名運動を終了。1954年8月6日の広島平和大会＝「全県下にわたって行われた原水爆禁止に関する各地の大会・署名運動の総括」の場として開催。原水爆禁止運動広島協議会（9月7日発足）、国際分野の運動方針として、原爆10周年に世界大会を開催することを決定。

3. ビキニ水爆被災事件とヒロシマ

* 広島への抗議の声＝広島市文化団体連絡協議会準備会（1954年3月27日）、広島県教職員組合第11回定期大会（3月30～31日）、憲法擁護国民連合広島県大会（4月12日）

* 婦人団体の発起＝第6回婦人会議広島大会（4月21日の）閉会后有志が相談して呼びかけ。

水爆禁止広島市民大会準備会御案内

四月二十一日、第六回婦人会議広島大会閉会直后、全参会者により原爆水爆禁止につき強い要望がありました。広島は世界最初の原爆を受け、八年目の今尚、**原爆による傷害は引きつづき起って居ります時、水爆実験による災害の勃発は一属私共の身边を不安におとしいれました。**

原爆水爆の禁止を願う事は、**単に婦人の声のみとせず**、全広島市民の心よりなる叫びとして広く全世界の良心に訴えるべきであると存じます。

又之は苦難の道を歩みつづける**原爆孤児、原爆被害者の無言の叫びに朝夕接して居ります広島市民の義務**でもであると存じます。

右の趣旨により、水爆禁止広島市民大会を開催すべき準備会を左記により開き度いと存じます。何とぞ御賛同の上、万障繰合せ御出席下さいます横お願い申し上げます。

記

一、とき四月二十八日午後七時～九時

一、ところ雑魚場町教育会館

四月二十二日

発起人（五十音順）

国鉄労組広島支部婦人部長 市川千代子

広島市婦人会連合会副会長 大熊チドリ

婦人問題研究会副会長 木村 都

広島市未亡人会々長 栗栖光代

婦人新聞W I L 迫 千代子

広島県地域婦人団体連絡協議会々長 杉原

イヨミ

広島県教育委員・広島県婦人議員クラブ 多田深雪

広教組広島支部婦人部副部長 長元文子

矯風会広島支部長 三井 愛

広島子供を守る会副会長 山口勇子

* **原爆・水爆禁止広島市民大会**（5月15日）広島市の児童文化会館に約700人の市民が参加。

県知事・市長夫人など16人の婦人を含む30人の常任世話人。佐久間澄広大教授・広瀬ハマ子広島女学院長の講演。大会議事＝経過報告（山口勇子事務局長），原爆被害者の訴え（金本栄枝・高橋昭博）・原爆被害者の実情報告（松坂義正）など。**原子兵器禁止を求める宣言と、原爆被害者救援のための特別保護法の制定を求める緊急動議**（田辺耕一郎）を採択。

* 大会後の常任世話人会（5月20日）

＝原水爆禁止県民運動連絡本部の設置を決定。具体的な運動として**県下全域にわたる署名運動の展開、広島県・市議会への決議の請願**などを申し合わせる。広島県・市議会は、この要請をうけ、それぞれ5月25日、28日に原水爆禁止決議と原爆障害者治療費全額国庫負担に関する決議。

* 広島県地域婦人団体連絡協議会（県婦協と略称）が中心となって推進。

原爆・水爆禁止広島市民大会世話人会による第1回街頭署名（6月4・5日・13日）。全国地域婦人団体連絡協議会（6月18日新潟）で原水爆禁止運動を提案。広島婦人会館内に原爆・水爆禁止広島県民運動連絡本部発足（7月2日）。8月8日、東京で署名運動全国協議会が結成され、全国で900万の署名が集約。広島県の署名数はその1割を占め、全国1位の成績。8月20日には目標の100万を突破、8月27日、100万3,472人の署名が84冊に綴られ、国連本部に送付。

広島が全国の運動の優等生、モデルとなる

4. 日本の原水爆禁止運動

*歴史の一般的な捉え方

1954年 ビキニ水爆被災事件を契機とする原水爆禁止運動の発生と国民運動としての展開。

1960年 安保問題を契機とする分裂。保守層を含んだ国民運動の崩壊。

1963年 「いかなる国」問題を契機とする分裂。「草の根」性の喪失。

1977年 国連軍縮特別総会（第1回）を契機とする国内の運動の統一。国民運動の復活。

1982年 欧米の反核運動の衝撃を契機とする国内における草の根運動の再生。

宇吹＝対立ではなく共通点に注目

*三潮流（原水爆禁止日本協議会、核兵器禁止平和建設国民会議、原水爆禁止日本国民会議）の共通点

一、毎年8月6日、9日の原爆記念日前後に広島・長崎を中心に大会を開催する。

二、被爆者救援・援護・連帯を原水爆禁止とならぶ中心課題として位置づける。

*継続開催＝当初から大会の継続開催を予定していたわけではなかったが、第3回、第4回ごろから**年中行事（伝統行事）**として定着。

*国際性＝三潮流に違いが見られる。

各潮流が意識的に。

マスコミに取りこの点が報道価値。

*開催地＝被爆地広島・長崎が、次第に重要な意味を持つようになり定着。

第3回、第4回＝東京。第5回＝広島

*大会の課題＝原水爆禁止の課題とともに、あるいは原水爆禁止の課題として、常に原水爆被害者問題を取り上げた。一時期、基地問題・沖縄問題・ベトナム問題などが取り上げられた。

*第5回大会を契機に、大会の基盤としての国民運動性は低下するが、大衆性は高まった。

平和行進、動員合戦

*第9回大会の分裂は、大会の基盤（**国民運動性・大衆性・国際性**）を著しく弱めた。また、初期に見られた大会の基盤は、統一大会の中でも回復されていない。**可能性と必要性**大会の基盤（国民運動性・大衆性・国際性）

* 原水爆禁止世界大会 (2011年)

1955年の世界大会を第1回とするならば、今年(1982年)に、広島で開催された「原水爆禁止2012年世界大会」は、第38回に相当。

原水爆禁止日本協議会

広島 「原水爆禁止 2011年世界大会・広島」=8月6日、2000人が参加

長崎 「原水爆禁止 2011年世界大会・長崎」=8月7日、7800人が参加。

原水爆禁止日本国民会議(平和フォーラム)など

福島 「被爆66周年原水爆禁止世界大会・福島大会(初)」(7月31日、福島市)。850人が参加。

広島 「核兵器廃絶2011平和ヒロシマ大会」=8月4日、連合、核禁会議、原水禁の三団体で構成される実行委員会の主催。広島県立総合体育館大アリーナを会場に約6,500人参加。

長崎 「核兵器廃絶2011平和ナガサキ大会」=8月7日、連合、核禁会議、原水禁三団体。長崎市の県立総合体育館に約4500人が参加。

沖縄 「被爆66周年原水爆禁止世界大会・沖縄大会」=8月11日、宜野湾市・沖縄コンベンションセンターに、約320人が参加。

参考:「さようなら原発 5万人集会」、9月19日、作家の大江健三郎ら9人が呼び掛けで東京・新宿の明治公園で開催。6万人(主催者発表)が参加。

日本の原水禁運動との関連=再生の契機? 転換? 無関係に展開?

藤居平一氏から学んだこと

1. 被爆地を大切に
2. 8月6日＝月忌 被爆者団体間で対立があってもこれは一致
3. 被爆者問題は嫌われ者がやること最初から対立があった。原水爆禁止の一点での共同。
4. 被爆者問題は、原水爆がなくなっても残る
5. 新潟の大火に対する救援金カンパを私が提案し、即座に5万3千円が集まったんですが、今度は、原爆障害者問題の私の提案に対して、長崎が賛成し、新潟が、藤居がやったというので賛成助けることが助けられるというんですかね。救うものが救われる。
Give and Take
6. 組織の大切さ。町内会、あかしあ会、早稲田同窓会、銘木連合会
7. 庄野さんが、**残留放射能の数値**を出してくるのは、根治療法の問題からです。アメリカに出させる前に、我々の方で根治療法を考えられんかということです。
学者、政治家、官僚

8. 国際放射線医学研究機関

まとめ 記念日・伝統行事としてのビキニデー

1月27日 ネバダデー 米国が1951年にネバダ州で核実験を実施した

3.1 ビキニデー

6月30日「第五福竜丸事件6・30市民集会」(焼津市など主催)

=1955年のこの日に被ばく者と米国との補償交渉が一段落(慰謝料配分最終決定)したとされ、市民集会は同市が主導して1985年から実施。

焼津市民賞=2010年6月30日第1回授賞式を開催。受賞者=公益財団法人第五福竜丸平和協会自治体での「平和賞」創設=沖縄県の「沖縄平和賞」(第1回授賞は2002年)、大阪府堺市の「自由都市・堺 平和貢献賞」(第1回授賞は2008年)に次いで3番目

1986年4月26日 チェルノブイリ原発事故

ソビエト連邦(現:ウクライナ)のチェルノブイリ原子力発電所4号炉で起きた原子力事故。後に決められた国際原子力事象評価尺度(INES)において最悪のレベル7(深刻な事故)に分類される事故。ソ連政府の発表による死者数は、運転員・消防士合わせて33名。事故の処理にあたった予備兵・軍人、トンネルの掘削を行った炭鉱労働者に多数の死者が確認。長期的な観点から見た場合の死者数は数百人とも数十万人とも。

1999年9月30日、JCOの核燃料加工施設内で核燃料を加工中に、ウラン溶液が臨界状態に達し核分裂連鎖反応が発生、この状態が約20時間持続した。作業員3名中、2名が死亡、1名が重症となった他、667名の被曝者。

広島大原爆放射線医科学研究所

2010年4月4日大研究部門から2大研究部門「放射線障害機構研究部門、放射線影響評価研究部門」、2大研究センター「ゲノム障害医学研究センター、放射線災害医療研究センター」に改称。

福島第1原発事故後、医師や看護師ら延べ約1100人を派遣した経費は約6400万円。広島県は避難者の受け入れや医療チームの派遣などに1億400万円を投入した。県はさらに広島県内に避難している広島県民の内部被曝を調べるホールボディーカウンター(全身測定装置、WBC)検査の約100万円も負担。(2011年1月3日朝刊掲載)

2012年社説 朝日・毎日・読売・日経・産経=ビキニに触れず

企画東日本大震災1年 朝日「いま伝えたい千人の声」(2月21日~3月11日)

3月1日開始の企画 読売「復興へいま」

「原爆報道」 「原発報道」